

JAS Information

協会事業関連資料集 1

平成 22 年度事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

本協会は定款の目的に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル(以下オーディオ等)に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関等との交流及び協力等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成 22 年度事業では感性価値創造を目指して、理事会機能の強化、各種委員会機能の強化、事務局機能の強化を図ることで普及・啓発活動を推進しました。

平成 23 年 4 月 1 日付けで一般社団法人としての移行登記を実施すべく準備を進め、あわせて理事の定員削減を含む定款の改定、会費徴収基準見直しを行い、来年の協会創立 60 周年に向けた新しい協会運営体制の強化を進めました。平成 22 年度に実施した主たる事業は、定款第 4 条各号に沿った通りであります。

また 3 月 11 日に発生した東日本大震災に被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。日本オーディオ協会では被害にあわれた方々への出来る限りのご支援を実施していく所存です。

(第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

デジタルホームシアター普及委員会において一般家庭におけるマルチチャンネルスピーカー配置の実態調査をもとに専門家による音場評価を加えることで日本市場に合ったホームシアターの為の音響的評価基準の研究を進めました。

また第三世代オーディオ普及委員会ではモバイルオーディオ推進協議会(MAPI)を通じて携帯端末を活用して家庭用オーディオ機器で音楽再生を行なうときの問題点の調査・検討に活用するための基準信号配信にむけた準備を進めました。

(第 2 号) オーディオ等に関する普及および啓発

5 月 1 日の「サラウンドの日」に(社)電子情報技術産業協会(JEITA)と協力し全国各地で「サラウンドの日」体感視聴会を開催しました。「音の日」には「音の匠」を顕彰し、「音の日試聴体験キャンペーン」も会員各社の協力により各地で開催しました。「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO (音展)」では協会主催の各種セミナーや生録会を実施しました。音展期間中「音のサロン」では良い音楽を良い再生環境で楽しむためのライフスタイル提案を行ないました。また、青少年向けの啓発活動を音展アキバ及び横浜市において開催しました。

(第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD 等の頒布を行いました。

(第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集及び提供

メール配信の会報 JAS ジャーナル 6 冊を発行しました。JAS ホームページは年間約 26 万ページビューの利用がありました。平成 22 年 4 月から新設したホームシアターサウンド Web はホームシアターに興味のあるお客様に具体的な情報を

提供するサイトとしてリニューアルし、年間約50万ページビューの利用がありました。

(第5号) オーディオ等に関する展示会開催

「オーディオ&ホームシアター展TOKYO」(音展TOKYO)を平成22年11月21日~23日に秋葉原UDXと富士ソフトアキバプラザにて開催し、多くの方々にオーディオ等の最新情報と視聴体験機会を提供しました。

(第6号) オーディオ等に関する人材の育成

健全なホームシアター市場の普及に向け、ホームシアター関連の販売従事者、建築士、インテリアコーディネーター、インストーラー等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材の育成のための「デジタルホームシアター取扱技術者」資格認定講座を開設しました。

(第7号) オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力

第17回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、「音の日」に4部門10作品の制作技術者およびベストパフォーマーを表彰しました。

なお震災対応として経済産業省と連携し(1)経営再建へ向けた金融支援(2)同雇用調整助成金条件の緩和(3)風評被害調査(4)節電対策取組み(5)東北オーディオ店会傘下の販売店再建支援などを中心に震災対策情報第9号まで発信し、取り組んでいます。現在は文部科学省との連携で被災された学校にオーディオ機器、音楽CDを提供しています。